

第4章

K O S H I C I T Y
資料編

1 合志市総合計画第3次基本構想第1期基本計画策定の経過

年 月	内 容
令和4年9月5日～20日	まちづくりのための市民アンケート調査 市民意識の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るためにまちへの愛着度や今後の定住意向などについてアンケートを実施
令和4年9月25日～26日	中高生ワークショップ（ルーロ合志） 市民ワークショップ（須屋市民センター）（野々島市民センター）（合志市役所） 職員ワークショップ（合志市役所） 市民のニーズを把握するためにワークショップを行い、市民を対象にまちづくりゲームを実施 市の若手職員に向けたワークショップを開催し、SDGsとまちづくりについて考え、意見交換を実施
令和5年3月 9日 3月17日 4月 4日	総合政策審議会 総合計画策定の経過報告、ワークショップの市民提案の内容について審議
令和5年5月12日	行政経営推進部会（課長級） 政策横断的重要課題の設定について協議
令和5年5月15日	政策推進本部会議 人口推計値の結果を庁内で共有し、政策横断的重要課題について決定し新たな将来都市像を検討
令和5年6月6日	行政経営検討部会（課長補佐級） 政策横断的重要課題についての分析・対応策の検討を実施
令和5年6月30日	政策推進本部会議 総合計画の体系を決定し、都市構想図の検討を実施
令和5年7月18日	総合政策審議会 合志市総合計画第3次基本構想第1期基本計画骨子案、将来都市像について審議
令和5年8月15日	政策推進本部会議 合志市総合計画第3次基本構想第1期基本計画素案の決定
令和5年8月21日	全員協議会 合志市総合計画第3次基本構想第1期基本計画素案の報告
令和5年8月22日～9月20日	パブリックコメントの実施
令和5年9月1日	総合政策審議会 合志市総合計画第3次基本構想第1期基本計画素案について、総合政策審議会へ諮問
令和5年9月12日	総合政策審議会 総合政策審議会より合志市総合計画第3次基本構想第1期基本計画について答申
令和5年11月1日	政策推進本部会議 合志市総合計画第3次基本構想第1期基本計画案について決定
令和5年11月27日	合志市総合計画第3次基本構想 議案上程
令和5年12月19日	市議会定例会において議決

2 合志市総合政策審議会委員名簿

令和6年3月31日時点

役 職	氏 名	要 件 等
会 長	フカミ ショウゴ 富加美 尚悟	元合志市職員
副会長	オガタ サチヨ 緒方 幸代	商工会から推薦
委 員	アラキ マリコ 荒木 麻理子	障害者施設・団体から推薦
委 員	イケザワ チエヨ 池澤 千恵子	指名選任
委 員	オオイシ アキヒロ 大石 顕寛	県北広域本部振興課長
委 員	オガタ ケンイチ 緒方 賢一	審議会委員経験者
委 員	カワバタ アイコ 川畑 愛子	審議会委員経験者
委 員	キムラ イチゾウ 木村 一三	民生委員・児童委員協議会連合会から推薦
委 員	ゴトウ ミドリ 後藤 みどり	指名選任
委 員	コニシ ショ 小西 淑子	区長連絡協議会から推薦
委 員	シライシ シノブ 白石 忍	ボランティア連絡協議会・社協から推薦
委 員	タカヤマ ユウジロウ 高山 祐二郎	防災士連絡協議会
委 員	タナカ サナエ 田中 早苗	合志市認可保育園連盟から推薦
委 員	チヨダ マサト 千代田 正人	一般公募
委 員	ナガオ テル子 永尾 テル子	スポーツ推進委員協議会から推薦
委 員	ヒラヤマ カズヨシ 平山 和敬	農業委員会から推薦
委 員	ワタナベ トヨコ 渡邊 トヨコ	地域づくりネットワークから推薦

3 総合政策審議会からの答申

令和5年9月12日

合志市長 荒木 義行 様

合志市総合政策審議会
会長 富加美 尚悟

合志市総合計画（第3次基本構想、第1期基本計画）素案について（答申）

令和5年8月24日付け合企第284号で諮問があった合志市総合計画第3次基本構想及び第1期基本計画（素案）について、慎重に審議し検討を行いましたので、下記のとおり答申します。

記

本審議会では、合志市総合計画第3次基本構想及び第1期基本計画を策定するにあたり、慎重に審議を重ねてきました。市民ワークショップの開催は、中高生を対象に実施するなど、これまで以上に多くの市民の意見・提案を取り入れた計画にしようという姿勢がみられ、本審議会でも、市民ワークショップで出された意見のとりまとめを行い、基本計画策定の過程で十分に市民ニーズが反映されるよう提言してまいりました。

また、合志市総合計画第2次基本構想では、将来都市像を「元気・活力・創造のまち～健幸都市こうし～」と定め、市民と協働したまちづくりを行ってきました。この度、合志市総合計画第3次基本構想の策定にあたり、本審議会では将来都市像について審議を重ねた結果、様々な環境の変化に柔軟に対応しながら、誰もがこのまちで安心して心豊かにいきいきと暮らし続けることができるよう将来都市像を「人と地域が輝く未来へ 健幸都市こうし」とし、幸福なまちを未来へ繋いでいけるよう、本計画を確実に推進されていくことを切望します。

今回、諮問がありました「合志市総合計画第3次基本構想及び第1期基本計画（素案）」については、今後の行政運営の指針として、概ね妥当なものとして判断します。なお、本計画に掲げる施策が具体的に実現されることが重要であることから、計画推進における留意事項を付し、市民との協働を図りながら、積極的に施策を推進するよう求めます。

【計画推進における留意事項】

- 1.半導体産業をはじめ本市への企業立地が加速しており、更なる発展を遂げようとしている中で、市民にとって交通渋滞に対する課題解決は急務と感じております。しかしながら、道路等のインフラ整備には時間と費用を要するため、渋滞解消に向けた取り組みとしてソフト対策（時差出勤・公共交通への転換等）を推進し、安全安心に暮らしていただくよう、行政はスピード感をもって課題解決に努めるよう求めます。また、企業立地が加速し農地が減少する中で、農家をどのように支援していくのか、これまでの推進の枠組みに捉われない新しい発想で支援に取り組んでいくよう求めます。
- 2.様々な施策で重要視されるコミュニティについて、地域の関わりが希薄化する中、コミュニティが維持・強化されていくよう、執行機関はコミュニティ活動を支援するとともに、多文化共生のまちづくりを進め、誰ひとり取り残さない社会が実現するよう強く求めます。
- 3.この計画を市民にわかりやすく周知し、市民と協働によるまちづくりが着実に実行されるよう求めます。

以上

4 まちづくりについてのアンケート調査結果概要

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

①調査目的

本調査は、第3次合志市総合計画後期基本計画（令和6年度～令和10年度）の策定に当たって、まちへの愛着度や今後の定住意向をはじめ、まちの各環境に関する満足度と重要度、今後のまちづくりの特色など、市民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

②調査対象及び調査方法

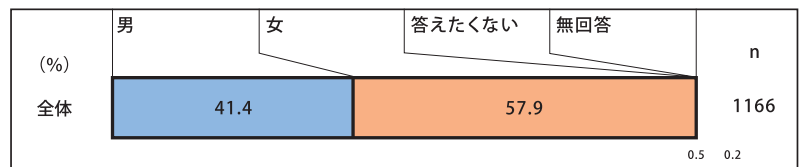
項目	内容
調査対象	18歳以上の市民
配布数	3,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	令和4年9月
調査地域	市内全域

③配布数及び回収結果

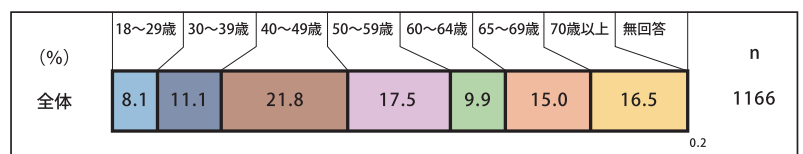
配布数	3,000
有効回収数	1,166
有効回収率	38.9%

2 回答者の属性

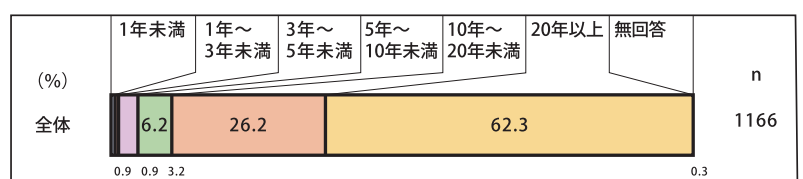
(1)性別



(2)年齢

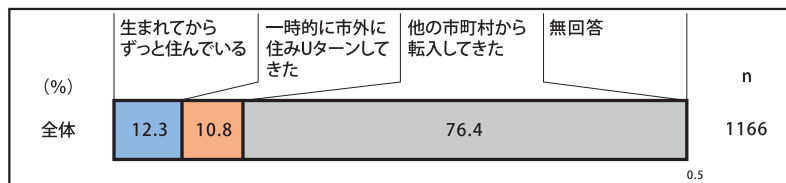


(3)居住年数

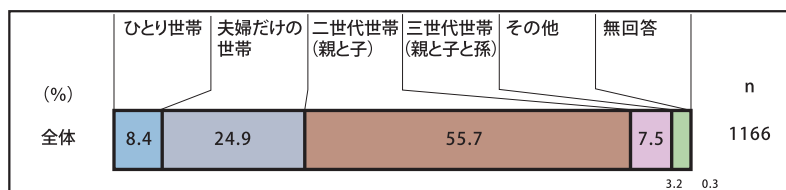


2 回答者の属性

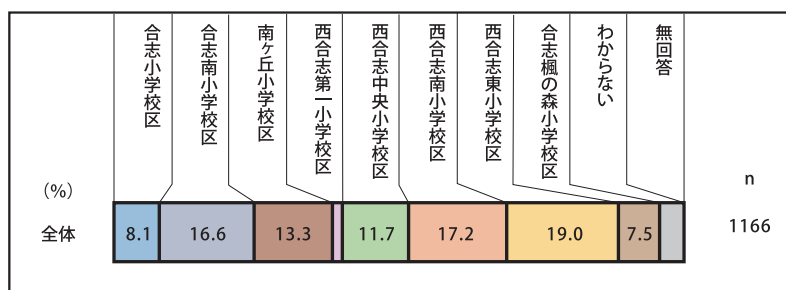
(4) 居住パターン



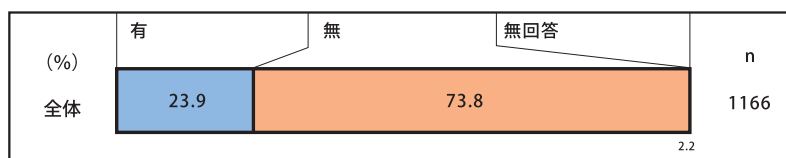
(5) 家族構成



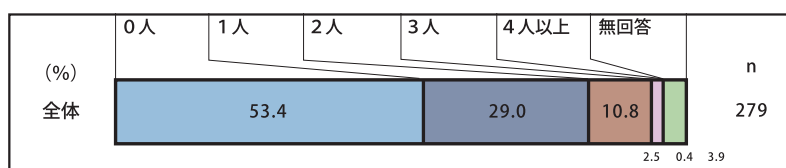
(6) 居住地区



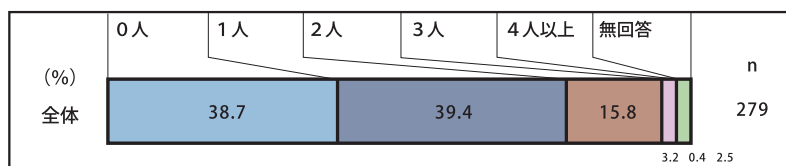
(7) 中学生以下の子どもの有無



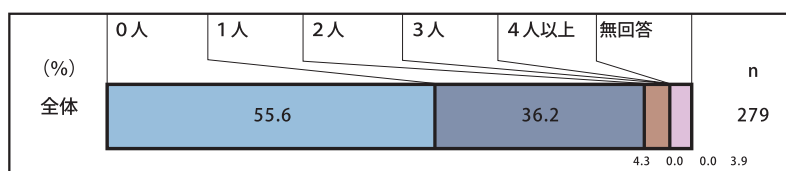
(7-1) 7で「有」と回答した人の就学前の子どもの人数



(7-2) 7で「有」と回答した人の小学生の子どもの人数



(7-3) 7で「有」と回答した人の中学生の子どもの人数



II 調査結果

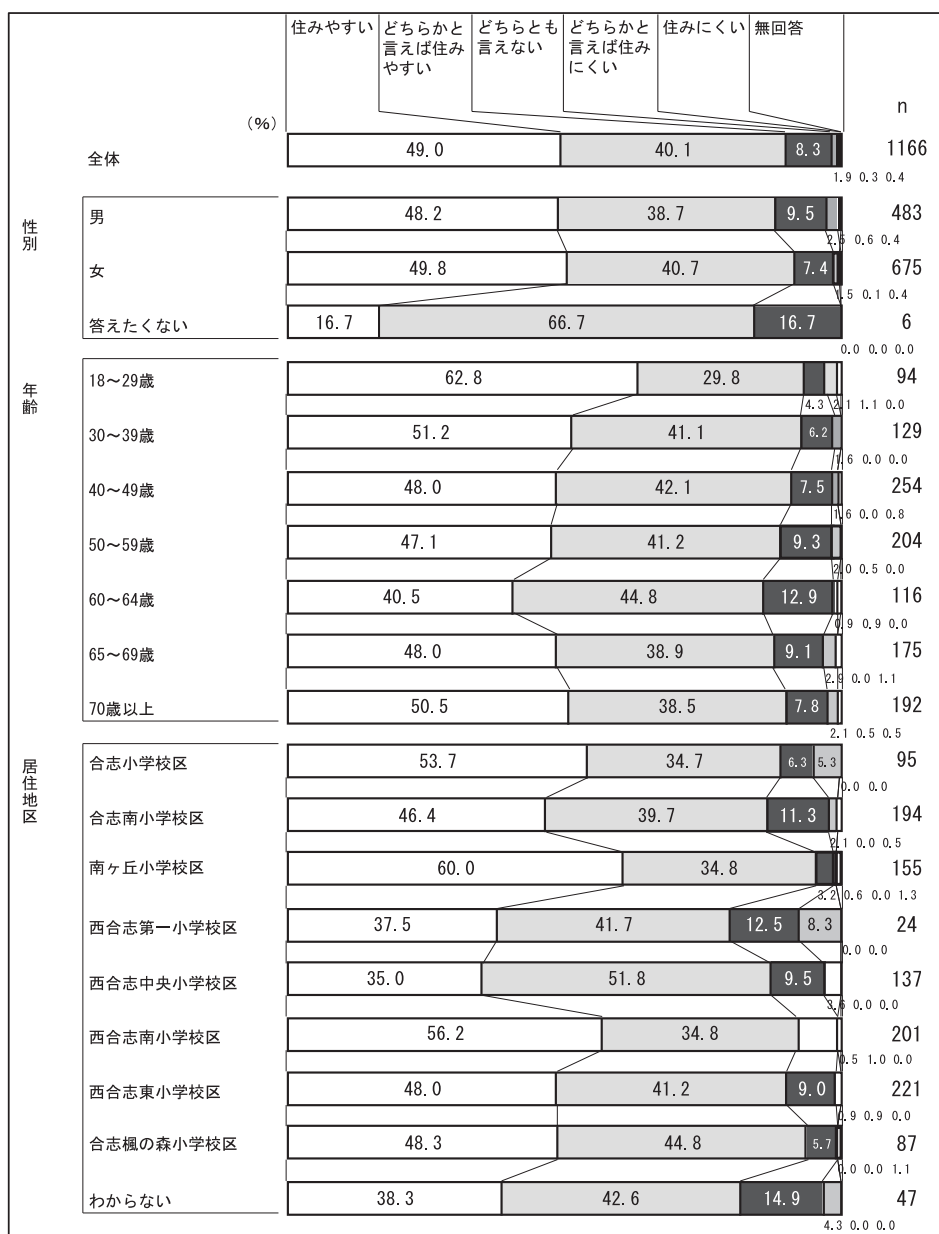
1 市の住みやすさや定住意向に関する意識について

(1) まちの住みやすさ

あなたは、合志市が「住みやすいまち」だと感じますか。

- 89.1%の市民が“住みやすい”または“どちらかと言えば住みやすい”と回答、2.2%の市民が“どちらかと言えば住みにくい”または“住みにくい”と回答

図表1 まちの住みやすさ(全体・性別・年齢・居住地区)

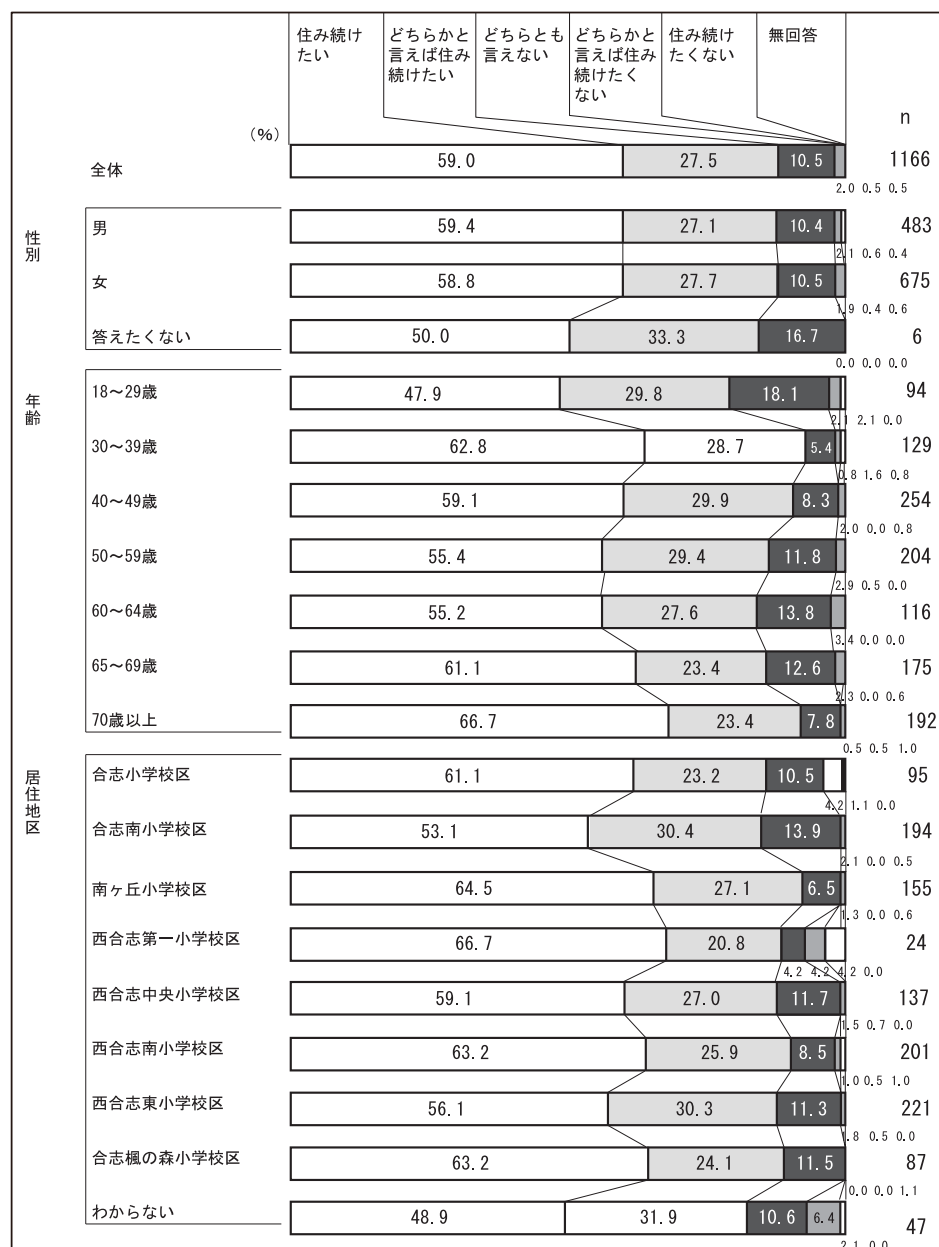


(2) 今後の定住意向

あなたは、これからも合志市に住み続けたいと思いますか。進学や転勤などやむを得ない理由は無いものとしてお考え下さい。

- 86.5%の市民が“住み続けたい”または“どちらかと言えば住み続けたい”と回答し、2.5%の市民が“どちらかと言えば住み続けたくない”または“住み続けたくない”と回答

図表2 今後の定住意向(全体・性別・年齢・居住地区)



2 まちづくりに係る様々な分野に対する意識について

(1) まちの各環境に関する重要度

現行の合志市総合計画に基づき本市が進めている各種施策について、それぞれの分野に対する、あなたにとっての重要度をお答えください。

- 重要度が最も高い項目は「水の安定供給」で、次いで「排水の浄化」、「地域医療体制の充実」、「災害予防対策」、「災害応急対策」の順

[図表3-1、3-2参照]

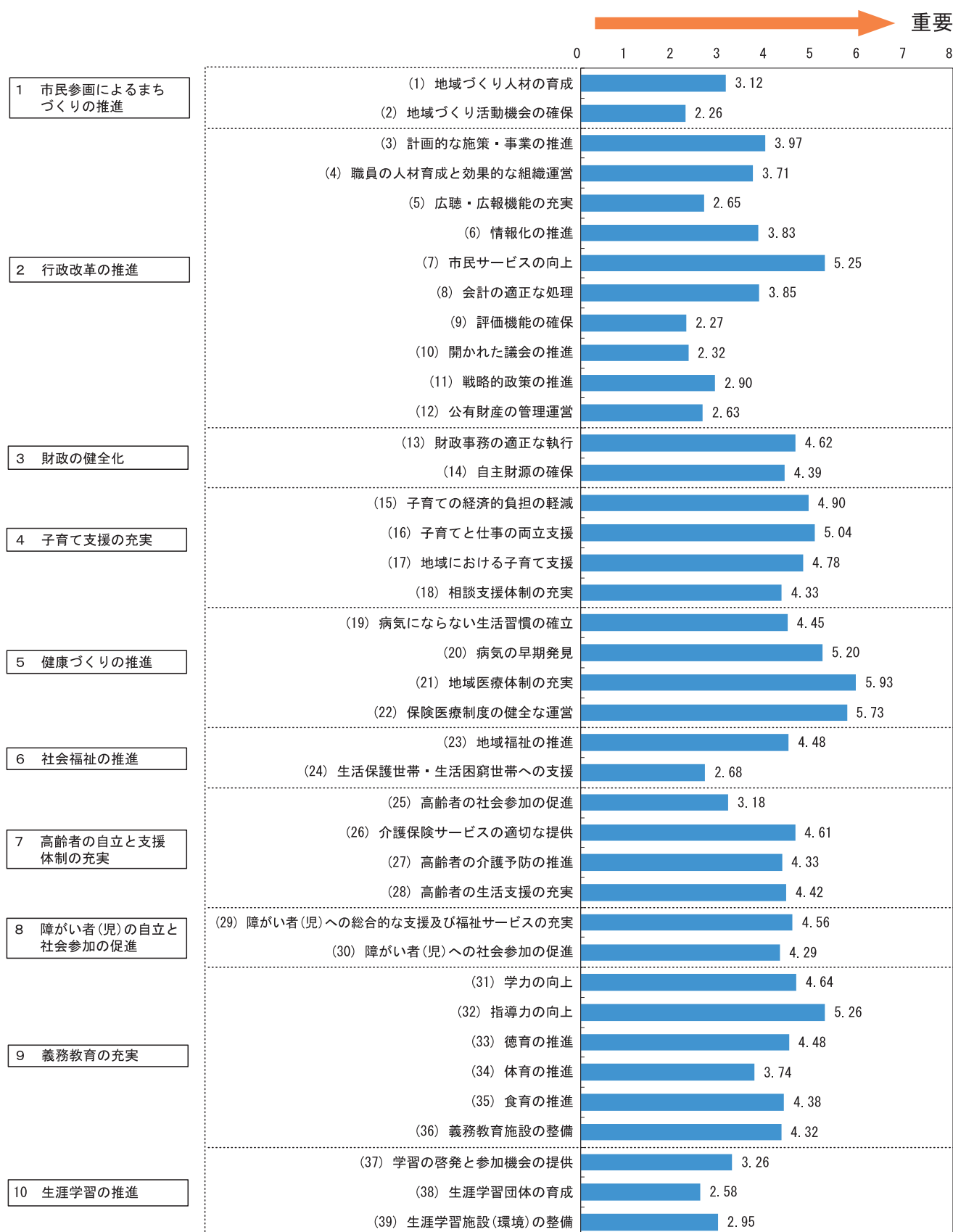
合志市の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、28分野75項目について、1（重要度低い）～5（重要度高い）の5段階で評価してもらい、その結果を点数化して評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

この結果、重要度評価が最も高い項目は、「(60) 水の安定供給」（6.47点）となっており、次いで第2位が「(61) 排水の浄化」（6.07点）、第3位が「(21) 地域医療体制の充実」（5.93点）、第4位が「(48) 災害予防対策」（5.90点）、第5位が「(49) 災害応急対策」（5.85点）と続き、以下、「(50) 災害復旧対策」（5.84点）、「(22) 保険医療制度の健全な運営」（5.73点）、「(52) 交通事故防止対策の推進」（5.48点）、「(63) 廃棄物の適正処理」（5.45点）、「(66) 計画的な道路の整備」（5.42点）などの順となっています。

これらの上位10項目を見ると、「防災対策の推進」分野から3項目全て、「水の安定供給と排水の浄化」分野から2項目全て、「健康づくりの推進」分野から4項目中2項目がランクインしており、これらの項目が重要視されていることがわかります。

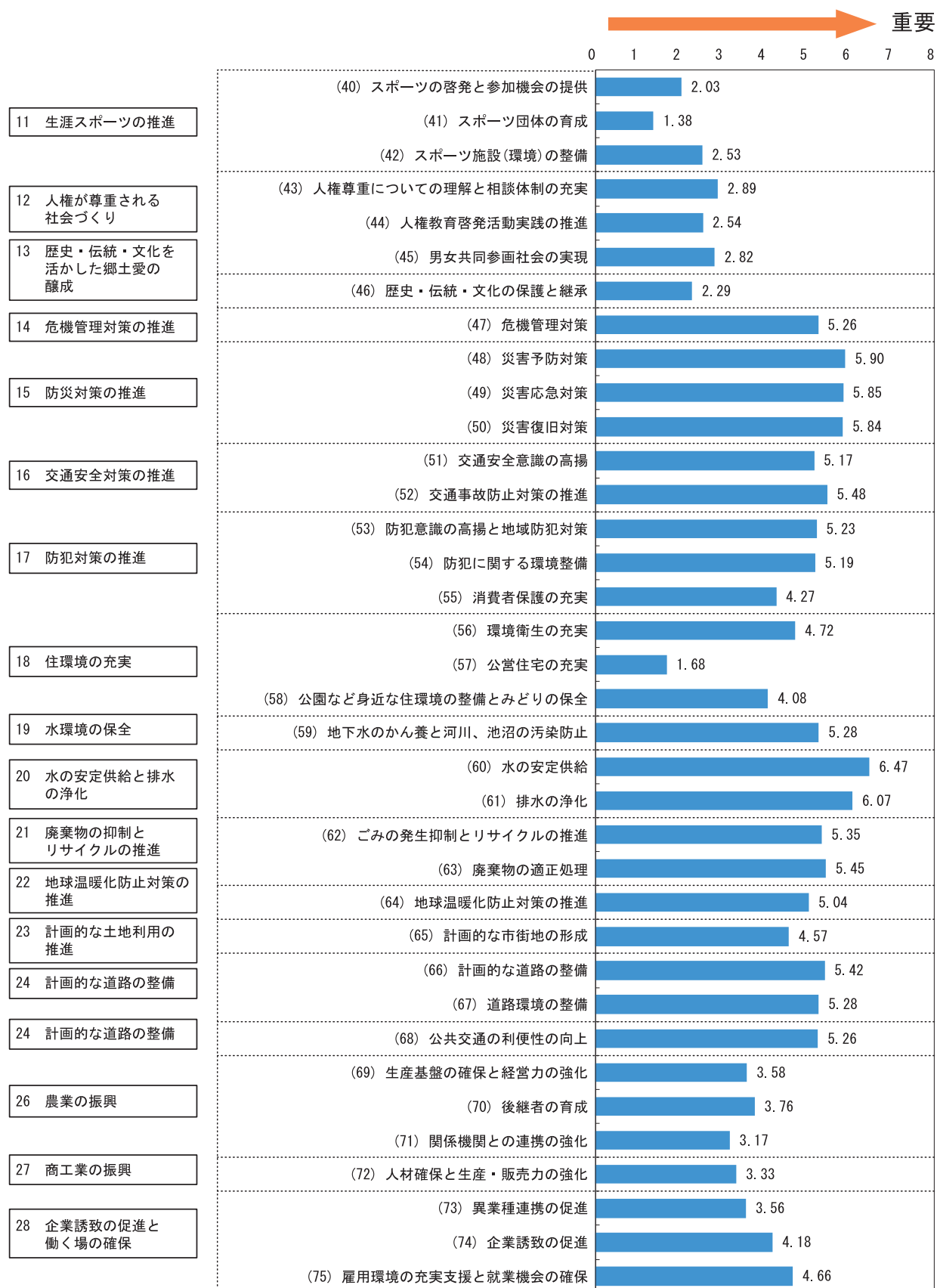
図表3-1 まちの各環境に関する重要度(1)~(39)

(単位:評価点)



図表3-2 まちの各環境に関する重要度(40)~(75)

(単位:評価点)



5 合志市財政計画(中長期財政見通し)

令和6年2月作成
(令和6年度～令和13年度)

目 次

第1 財政計画の策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨……………103

第2 中長期財政計画

- 1 計画額の前提条件……………104
- 2 計画額(令和6年度～令和13年度)……………106

第3 参考資料

- 1 用語の解説……………108

<作成変遷>

第1回	新規作成	平成19年12月(平成19年度～平成27年度)
第2回	計画見直作成	平成22年12月(平成22年度～平成27年度)
第3回	計画見直及び 年度追加作成	平成25年11月(平成26年度～令和3年度)
第4回	計画見直及び 年度追加作成	平成27年10月(平成28年度～令和5年度)
第5回	年度追加作成	令和6年2月(令和6年度～令和13年度)

第1 財政計画の策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

財政計画は、平成19年度に中長期的に安定した財政運営が行えるよう一般会計を対象に作成し、その後、市の総合計画などとの整合性を図りながら3回の見直しを行ってきました。今回、合志市総合計画第3次基本構想の策定にあわせ、令和6年度から令和13年度までの財政計画（中長期財政見通し）を策定しました。今回の計画では、計画最終年度である令和13年度の財政調整基金目標額30億円以上（標準財政規模の10%程度として15億円、税の減収や還付等に備えるため5億円、災害その他の不測の事態に備えるために10億円）を確保し、計画期間中の実質公債費比率が10%未満で推移することを目標としています。

本計画は、予算編成や行財政運営の指針として活用していくものであり、社会経済情勢の変化や地方財政制度の動向等に大きく左右されることから、必要に応じ見直しを行っていくこととします。

計画額の算出については、令和2～4年度決算額及び令和6年度当初予算・決算見込みをベースとし、見込まれる主要事業を反映して計画額を算出しました。財政計画試算の前提条件については、別に記載しています。今回の計画で目標とする基金残高30億円以上の確保と、実質公債費比率10%未満での財政運営は達成できる見通しですが、新たな行政課題や大規模事業による基金総額の減少も念頭に置き、さらに効率的な行政運営や自主財源の確保に取り組んでいきます。

第2 中長期財政計画

1 計画額の前提条件

財政計画試算における歳入、歳出の前提条件は次のとおりとなります。

【歳入】

項目	内容
市 税	令和4年度決算及び令和5年度人口推計を参考に、年0.5%~2.5%の増加を見込みました。
地方交付税	普通交付税は、令和5年度算定の基準財政需要額を基本に、各年度の基準財政需要額見込みを算定しました。令和7年度、12年度の国勢調査人口を人口推計から見込み、算定に反映させました。 需要額見込みから、前年度の市税額の75%及び当年度の地方譲与税・交付金の合計を差し引いたものを、普通交付税額として見込みました。特別交付税は、令和2~4年度決算額の平均を参考に5億円を見込んでいます。
地方譲与税・交付金	令和2~4年度決算額の平均値で推移するものとして見込んでいます。
使用料及び手数料	令和2~4年度決算額の平均値で推移するものとして見込んでいます。
国県支出金、分担金・負担金等	各年度の歳出で見込んだ事業費に対する補助割合で見込んでいます。
市 債	各年度の歳出で見込んだ事業費に臨時財政対策債(3億円で推定)を加えた額で見込んでいます。
繰入金	以下の特定目的基金について、充当対象事業の事業費にあわせた繰入額を見込んでいます。 ふるさと創生基金、地域福祉基金 公共施設整備基金(令和7、9年度) 市立小中学校教育環境整備基金(令和8、13年度)
繰越金	令和2~4年度決算額の平均で推移するものとして見込んでいます。

【歳出】

項目	内容
人件費	定年延長や定員管理計画の職員数などを基本に見込んでいます。
扶助費	決算額の推移及び令和5年度人口推計を基本に、令和6～13年度まで、毎年度約4%の伸びで推移するものと見込んでいます。
公債費	令和5年度までの借入れ実績に、令和6～13年度の普通建設事業費の財源として見込んだ起債による元利償還金を合算し見込んでいます。
普通建設事業費	各年度に計画している普通建設事業費を見込んでいます。
災害復旧事業費	災害復旧時消耗品、土砂処分手数料の200千円を見込んでいます。
物件費	決算額を基に、令和6～13年度の計画額を見込んでいます。
維持補修費	決算額を基に、令和6～13年度の計画額を見込んでいます。
補助費	企業会計への負担金などは、繰出し基準に基づき計画額を見込んでいます。その他の負担金・補助金は関連団体の事業見込みなどを基本に計画額を見込んでいます。
積立金	基金利子積立金のほか、財政調整基金積立金、小中学校教育環境整備基金積立金を見込んでいます。 財政調整基金決算剰余金積立金：毎年度の決算剰余金を8億円と見込み、その金額の2分の1を下らない額（4億円）を見込んでいます。
投資及び出資金	下水道事業会計への出資金（資本的収入）を見込んでいます。
貸付金	奨学資金貸付金を同額で推移するものとして見込んでいます。
繰出金	国保・介護・後期特別会計等への繰出金を見込んでいます。
予備費	各年度20,000千円で見込んでいます。

2 計画額(令和6年度～令和13年度)

【歳入】

(千円)

	R6	R7	R8	R9
市税	7,601,390	8,135,416	8,218,095	8,300,721
地方譲与税・交付金	2,120,900	1,700,000	1,700,000	1,700,000
地方交付税	4,332,000	5,115,312	5,517,553	5,550,240
分担金・負担金	272,249	224,083	224,083	224,472
使用料・手数料	318,792	238,346	238,346	238,346
国支出金	5,645,009	7,250,541	6,358,283	7,284,088
県支出金	2,928,461	2,877,898	3,007,103	3,061,542
財産収入	34,628	31,417	25,797	26,013
寄附金	20,000	201,000	201,000	201,000
寄附金（一般財源）	210,100	100,000	100,000	100,000
繰入金	271,438	635,335	935,335	235,335
繰越金	800,000	800,000	800,000	800,000
諸収入	121,292	547,908	510,487	510,343
市債	1,337,100	3,703,400	880,300	1,752,300
市債（臨財債）	100,000	300,000	300,000	300,000
総計	26,113,359	31,860,656	29,016,382	30,284,400
特定財源（色なし）	10,948,969	15,709,928	12,380,734	13,533,439
一般財源（色あり）	15,164,390	16,150,728	16,635,648	16,750,961

【歳出】

(千円)

性質別歳出項目	R6	R7	R8	R9
人件費	3,527,476	3,343,976	3,468,731	3,290,625
扶助費	9,601,094	10,535,846	10,946,933	11,387,973
公債費	2,202,045	2,233,076	2,264,732	2,275,018
普通建設事業費	2,042,652	6,733,413	2,170,629	3,687,632
災害復旧事業費	200	200	200	200
物件費	4,197,705	4,664,199	4,136,278	4,222,063
維持補修費	63,278	57,186	57,486	57,710
補助費	2,953,501	2,786,799	2,858,821	3,052,545
積立金	418,410	538,856	538,939	539,020
投資及び出資金	140,406	141,115	141,115	141,115
貸付金	1,872	2,424	2,424	2,424
繰出金	2,002,361	1,987,734	2,049,887	2,114,850
予備費	20,000	20,000	20,000	20,000
総計	27,171,000	33,044,824	28,656,175	30,791,175

歳入総計－歳出総計	▲ 1,057,641	▲ 1,184,168	360,207	▲ 506,775
-----------	--------------------	--------------------	----------------	------------------

財政調整基金決算剰余金積立金	400,000	400,000	400,000	400,000
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

財政調整基金残高	3,645,725	2,861,557	3,621,764	3,514,989
----------	------------------	------------------	------------------	------------------

政策横断的重要課題対象事業費	7,161,274	6,972,219	7,735,923	8,596,574
----------------	------------------	------------------	------------------	------------------

【歳入】

(千円)

	R10	R11	R12	R13
市税	8,383,247	8,466,833	8,551,492	8,637,240
地方譲与税・交付金	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000
地方交付税	5,571,626	5,501,885	5,456,549	5,687,488
分担金・負担金	224,472	224,861	224,861	224,861
使用料・手数料	238,346	238,346	238,346	238,346
国支出金	7,212,639	7,043,476	7,357,869	7,288,526
県支出金	3,158,260	3,266,214	3,389,218	3,545,608
財産収入	28,331	28,414	28,497	28,581
寄附金	201,000	201,000	201,000	201,000
寄附金（一般財源）	100,000	100,000	100,000	100,000
繰入金	35,335	35,335	35,335	635,335
繰越金	800,000	800,000	800,000	800,000
諸収入	510,193	483,243	483,293	483,357
市債	1,655,700	1,603,300	1,550,700	1,387,600
市債（臨財債）	300,000	300,000	300,000	300,000
総計	30,119,149	29,992,907	30,417,160	31,257,942
特定財源（色なし）	13,264,276	13,124,189	13,509,119	14,033,214
一般財源（色あり）	16,854,873	16,868,718	16,908,041	17,224,728

【歳出】

(千円)

性質別歳出項目	R10	R11	R12	R13
人件費	3,436,728	3,326,157	3,487,986	3,381,841
扶助費	11,792,439	12,223,758	12,673,911	13,145,912
公債費	2,052,672	1,959,996	1,945,036	1,914,877
普通建設事業費	3,354,592	2,684,550	2,414,794	2,613,680
災害復旧事業費	200	200	200	200
物件費	4,114,286	4,196,971	4,755,300	4,454,271
維持補修費	58,167	56,567	58,167	58,167
補助費	2,809,158	2,864,803	2,886,101	2,889,476
積立金	539,102	559,185	539,268	539,352
投資及び出資金	141,115	141,115	141,115	141,115
貸付金	2,424	2,424	2,424	2,424
繰出金	2,183,609	2,255,288	2,330,015	2,407,927
予備費	20,000	20,000	20,000	20,000
総計	30,504,492	30,291,014	31,254,317	31,569,242

歳入総計－歳出総計	▲ 385,343	▲ 298,107	▲ 837,157	▲ 311,300
-----------	------------------	------------------	------------------	------------------

財政調整基金決算剰余金積立金	400,000	400,000	400,000	400,000
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

財政調整基金残高	3,529,646	3,631,539	3,194,382	3,283,082
----------	------------------	------------------	------------------	------------------

政策横断的重要課題対象事業費	8,811,810	8,528,117	8,711,929	8,969,751
----------------	------------------	------------------	------------------	------------------

第3 参考資料

1 用語の解説

【歳入】

- 1 市 税： 市がその活動に要する経費を賄うため市民から徴収する税金で個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税です。
- 2 地方交付税： 地方公共団体が一定の水準を維持するよう、財源保障の見地から国税として国が地方に代わって徴収し、一定の合理的な基準により国から地方に再配分される地方固有の財源です。
- 3 地方譲与税： 自動車重量税や揮発油税は、本来、地方税として徴収すべき税ですが国が代わりにこれらの税を徴収し、その税金を面積、市町村道の延長、人口等に応じて配分するものです。
- 4 交 付 金： 地方消費税やゴルフ場利用税等、国や県が集めた税金の一部を市町村に交付するものです。
- 5 国 支 出 金： 国が奨励する事業や共同の責任で行う事業などについて、負担割合に応じ、国が交付するものです。
- 6 県 支 出 金： 県が奨励する事業や共同の責任で行う事業などについて、負担割合に応じ、県が交付するものです。
- 7 市 債： 市が道路などの社会資本の整備等を行うにあたって、第三者から資金の借入れを行うことによって負担する長期の債務です。
- 8 分担金・負担金： 事業の負担割合に応じて支払う分担金及び負担金です。
- 9 使用料・手数料： 設利用等に対する使用料及び手数料です。
- 10 財 産 収 入： 市の財産貸付等による財産収入です。
- 11 繰 入 金： 各種基金・特別会計から一般会計への繰入金です。
- 12 繰 越 金： 決算によって生じる前年度からの繰越金です。

【歳出】

- 1 人 件 費： 市職員の給料や手当のほか、議員や各種委員の報酬等が含まれます。
- 2 扶 助 費： 児童手当や医療費助成、生活保護費など社会保障制度の根幹を成す経費です。
- 3 公 債 費： 市債の借入れによって生じる返済金（元利償還金）等です。
- 4 普通建設事業費： 道路、学校等公共施設の整備に要する経費です。
- 5 災害復旧事業費： 災害によって被災した施設を復旧するために要する経費です。
- 6 物 件 費： 旅費、消耗品費等の消費的性質の経費です。
- 7 維持補修費： 公共施設や設備、物品等の修繕、補修にかかる経費です。
- 8 補 助 費： 他団体等に対する補助金、負担金等です。
- 9 積 立 金： 財政運営を計画的に行うため、又は特定支出目的のために積み立てるものです。
- 10 投資及び出資金： 公益上の必要性による他団体への出資等に要する経費です。
- 11 貸 付 金： 奨学資金の貸付金等です。
- 12 繰 出 金： 一般会計から特別会計への繰出金です。
- 13 予 備 費： 予算外の支出等に充てるための目的外予算です。



合志市総合計画 第3次基本構想 第1期基本計画

基本構想 令和6年度(2024年度)～13年度(2031年度)
第1期基本計画 令和6年度(2024年度)～ 9年度(2027年度)

令和6年3月発行



〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140番地
Tel:096-248-1111(代表) Fax:096-248-1196
<https://www.city.koshi.lg.jp/>